

## 平成25年度第2回花巻新渡戸記念館運営協議会会議録

- 1 日 時 平成26年2月27日(木) 13時30分～15時
- 2 場 所 花巻新渡戸記念館事務室
- 3 出席者 (1) 委員：木村清且委員(会長)、内館勝人委員、内匠睦子委員、小原幸子委員(計4名)  
(2) 市側：久保田泰輝生涯学習課長、嶽間澤茂新渡戸記念館長、小原弘道副館長、林秀学芸調査員
- 4 担当者 議長：会長、進行：副館長、記録：学芸調査員

### ●会議成立の報告

#### ○副館長

それでは、予定の時刻になりましたので始めさせていただきます。

本日は年度末そして月末のお忙しい中、ご出席を賜りましてありがとうございます。まだ中島健次委員が見えていませんが、定刻になりましたので始めさせていただきます。

それでは開会の前に本日の会議の成立を申し上げます。

本日欠席の連絡がございましたのが、伊藤委員そして松岡委員のお二方でございます。従いまして現時点で過半数以上の出席を賜りましたので花巻新渡戸記念館管理運営規則第7条第2項の規定によりましてこの会議が成立していることを報告申し上げます。

また、本日、菊池まちづくり部長が議会等の所用により欠席いたしますので、代理で生涯学習課長の久保田課長の出席をいただいております。

### ●開会

#### ○副館長

それではこれより、平成25年度第2回花巻新渡戸記念館運営協議会を開催いたします。まず最初に開会にあたりまして当館の嶽間澤館長よりご挨拶を申し上げます。

#### ○館長

お忙しい中、今日にご出席いただきましてありがとうございます。

前回、9月末に、第1回の運営協議会を開催いたしまして、25年度の事業の推移についてご報告いたしました。また次年度の計画についてご意見をいただきました。今回、25年度後半の事業報告、26年度の事業計画についてご説明をして、ご意見を頂戴したいと思います。

10月初旬に、「新渡戸フェスティバル」を開催しました。例年10月の開館記念日に合わせて無料公開をしております。今年は、小学生を対象に、すべての小学校長にお願いしたり、6年生全員にチラシを配布いたしましたが、残念ながら15名の参加でした。やはり子供たちより先生方の関心が少ないような気がいたします。2年前から、新渡戸稲造は小学校6年生の教科書にも載っているのですが、残念な気持ちです。新年度4月になりましたら、また学校訪問して新渡戸記念館や新渡戸稲造さんとの関わりを説明してまいりたいと思っております。

次年度につきましては、この記念館にいらしたお客様には、花巻の歴史、特に花巻城に係る部分をもっと知らせる機会があってもよいと考えております。当館や賢治記念館、童話村にいらしたお客様は、見学後すぐに新幹線駅に向かうことが多いと聞きます。今後、もっと市内に足を向けてもらえるように、市内にある新渡戸家ゆかりの顕彰碑や石碑、さらには花巻城に関わる場所を紹介する企画展を開催したいと思っております。

それから昨年10月、当館のPRも兼ねて岩手日報の論壇に投稿いたしました。また、

昨年は新渡戸稲造没後80年にあたる年でありました。それを記念して新渡戸基金を中心にして教文館から「新渡戸稲造事典」が出版されました。佐藤全弘先生と藤井茂さんとの共著で、大変すばらしい事典ができました。東京や盛岡で開かれた出版祝賀会にも参加してまいりました。

それから、山形から当館にいらした方から五千円札について情報提供をいただきました。五千円札には4種類あり、うち大蔵省で造られた2種類を両替の形で提供いただき、現在窓口に掲示してあります。27年度にもしかしたら五千円の企画展ができるかなと考えているところです。本日、協議の中でいろいろな意見をいただけますよう、よろしく願いいたします。

#### ○木村運営協議会長

皆さん、ご苦労様です。

今、館長から拝見した写真の中の梵鐘は、盛岡城から花巻に廻ってきたというのですが、盛岡藩に170か所ほどあったものが、今では20か所ほどしか残っていないそうです。現在、若い人向けに前館長の梅原廉先生に隔週で2時間ほどお話をいただいております。その中で梵鐘の話が出てまいりまして、城の絵図面を見ながら、現在の街並みとの違いのお話を伺っております。それはすべてDVDに収録してありますが、そのお話の中で、当記念館の「松岡円平展」について高く評価されておりました。

1年間で2回の協議会ですけれども、このあといろいろ協議をしてまいりますのでよろしく願いいたします。

#### ●協議

#### ○副館長

平成25年度事業内容について資料に従い説明

#### ○議長

ありがとうございました。今説明がありましたが、入館者が昨年度よりも少ないという件では、その前の23年度よりは増えているわけですね。

#### ○副館長

23年度は震災の年で比較できないかもしれませんが、23年度よりは多いです。開館以来の入館者数については5頁に示してあります。多いときは3万人という数字もあり、2万人という数字は死守したいという思いはありますが、今年度は厳しい状況となっております。

#### ○議長

明らかに多かった年は、平成8年の宮沢賢治生誕100年の年です。当館は共通券の関係もあり、賢治記念館の入館者が多いときは当館も増えるという傾向は明らかにあります。

#### ○小原委員

平成24年のデスティネーションキャンペーンのあった年はこちらも入館者が多かったと思いますが、昨今は人の動きが少ないように感じます。何か新しい試みはあるのでしょうか。

#### ○副館長

6頁の資料にあるように、団体での入館者の割合が少ないのがお分かりになると思います。来年度は団体客の誘致ができるような方策を考えたいと思っております。

昨年8月に沿岸から、高齢者学級の団体が2つありました。新年度は、市内外の公民館事業に声をかけて団体客の誘致に努めたいと考えております。

#### ○議長

昨年9月、バスで盛岡先人記念館の方が「菊池邸」に2週にわたっていらっしゃいました。延べ60人ほどです。いろんな記念館でそのようなことをしているようですので、そ

のようなことも利用できると思います。

それでは次の協議に移ります。

**○副館長**

平成26年度事業計画について説明

**○議長**

ありがとうございます。今説明のあった26年度事業について審議したいと思います。

現在、市内を回る100円バスは、土日だけでも宮沢賢治記念館や博物館と一緒にこちら方面を回るようにはなりませんか。

**○久保田課長**

平成28年度に全面的な見直しを予定しております。現在は市内1ルートだけで運行しておりますが、それをもう少し増やせないか担当課で見直し中です。県交通が運行するにしても、市で委託することになりますので、ある程度の利用者がいないと継続できないため一旦は運行を縮小しました。

**○議長**

運行再開を楽しみにしている市民もいらっしゃると思いますので、ぜひこちらにも立ち寄るように検討いただきたいと思います。また、今説明された「友の会」についてはぜひとも進めてほしいですね。

**○小原委員**

「友の会」については、花巻だけではなく盛岡からの情報も届くのはうれしいですね。

**○館長**

関心のある方で、特に教員を対象に募集したいと思っております。情報が少ないため関心が湧かないのではないかと思います。

**○内匠委員**

教員の関心のあるなしが、子供たちの興味・関心に影響すると思うので、教員への働きかけは大事だと思います。昨年10月のフェスティバルに参加しましたが、子供たち皆、熱心に聞いていましたね。

**○館長**

参加人数が少なくて残念でしたが、チラシを配ったことによって新渡戸稲造や新渡戸記念館を知ってもらえたと思います。

来年度は、市内の高校生全員にチラシを配りたいと考えております。

**○内匠委員**

団体宛てに送るよりも、その団体の長個人宛てに送るほうが効果があるのではないかと。

**○館長**

公民館への働きかけと、学校への働きかけをしていきたいと思います。

**○議長**

北海道大学を訪ねた際、花巻出身であることを告げるととても歓迎された思い出があります。その位の人物を輩出しているのだから、花巻市民にはもっと地元のことを知ってもらいたいですね。

また、この館には講話室があってもよいと思います。そうすると出前授業だけではなく、直接、館に来ていただく機会が増えると思います。

**○内館委員**

市では現在、先人の掘り起し作業が進んでいるそうですが、今後どのような形で市民に紹介されるものか分かりませんが、新渡戸記念館が先人記念館としての役割を果たしてもよいのではないかと思います。共同企画展で取り上げる人物がお一人の場合、広く関心を集めるのは難しいかもしれませんが、何名かの先人を取り上げた企画展を開催すれば、多くの市民の関心と呼ぶのではないのでしょうか。

次にお願いしたいことは、氏名・地名・役職名等によみがなやふりがなを付けていただきたいです。そのことによって理解が深まるし、小中学生にも分かってもらえると思うのでぜひお願いしたいと思います。

もうひとつ、ぜひ年表を作成していただきたい。新渡戸氏の理解につながるとと思います。

#### ○議長

先人を取り上げるという点では、今後予定されている新図書館の取り組みにも関わってきそうですね。

#### ○久保田課長

市内には当館を含め、宮沢賢治、萬鉄五郎など特定の先人に特化した記念館があります。そのため、新図書館計画の中では、そこに誘導を仕向けるように先人を紹介する機能を持たせるという議論の方向性になっております。内館委員のおっしゃるように、花巻の先人と言って挙げられる方は、今分かっているだけで200名ほどおられます。そのような方々を市民の皆様に紹介するためには、市の公共施設をメインとしていろいろな場所で露出させていかないと市民に分かっていただけないと思います。ご提案のように、新渡戸記念館において、新渡戸氏と関わりの深い人物を中心としつつ、花巻にゆかりのある方を取り上げるというのは、方向性として間違っていないと思います。

#### ○館長

市博物館との兼ね合いも出てきますね。

#### ○久保田課長

すみわけは当然ありますが、博物館ですべてできるわけではないので、いろいろ記念館等の施設で紹介するのが始まりかと思います。

#### ○館長

説明板のふりがなについては進めてまいりたいと思います。年表も資料として準備していけば、関心のある方にご利用いただけると思いますし、稲造と佐藤昌介の年表も作ってもよいと思います。また傳(つと)や十次郎、稲造の年表を作りたいと考えております。

#### ○議長

ほかにごさいませんか。それでは次の協議事項に移ります。

### ●その他

#### ○副館長

再来年、27年度は開館25年になりますが、それにふさわしい事業をやりたいと考えております。そのことに関連して、いつでも構いませんのでお知恵をいただければと思います。以上、お願いいたします。

#### ○館長

関連して申し上げますが、入館者が50万人目前となっております。年平均2万人で起算すると27年度にちょうど重なりますので、この点も合わせてお願いします。

#### ○議長

それではこれで協議を終わります。

#### ○副館長

本日は誠にありがとうございました。今回いただいたご提言は、なるべく即実行するように努めて運営してまいります。本日はありがとうございました。